

(参考)

国際センターの現状と将来計画

1 国際センターのミッション

グローバル化は、21世紀の大学において避けて通れない課題であり、本学でも第3期中期計画において積極的な国際交流とそれを可能にするための取り組みが謳われている。また、平成30年度にはKPI指標として、2021年度に派遣留学生数300名を達成するという新たな目標が設定された。平成29年5月に組織改編された国際センターは、群馬大学における国際化の拠点として、国際センター教員及び国際課を中心に各学部等と有機的に連携し、群馬大学全体の国際化・国際交流事業を戦略的かつ着実に実現していくことを使命としている。

(参考) 「群馬大学国際センター規程」第2条

センターは、群馬大学（以下「本学」という。）における国際化の拠点として、大学全体の国際化を戦略的に推進することを目的とする。

国立大学法人群馬大学第3期中期計画（抄）

(1) グローバル化に関する目標を達成するための措置

【47】①海外からの留学生の受入れ及び学生の海外派遣を積極的に推進し、国際社会で活躍できるグローバル人材を養成する。また、留学生等に対する教育環境を充実させる。第3期中期目標期間末までに、学生の海外派遣については年間200人、留学生の受入れについては年間300人を確保する。

【49】③教職員の国際交流を推進するとともに、外国人研究者を招聘するなど国際水準の教育研究活動を展開する。

留学生派遣 KPI 目標値

平成30年度 222名、2019年度 248名、2020年度 274名、2021年度 300名

2 国際センターの業務と今後の計画

国際センターは、主に以下の①～④の業務及び①～④の実施に必要な業務⑤を実施して、第3期中期目標・計画におけるグローバル化に関する目標及びKPI目標を達成する。

① 外国人留学生受入れやキャンパスでの活動による学生国際交流の推進

受入体制の整備により継続的に外国人留学生を確保し、それらの留学生と日本人留学生がキャンパスで交流する多様な国際交流活動を展開することで、留学への関心と国際交流意識を涵養する。

② 学生の海外派遣によるグローバル人材育成貢献

留学フェアや、年間を通じた多様な海外での国際教育交流プログラムの提供、継続的な留学相談により派遣留学を支援し、グローバル人材育成につなげる。

③ 国際化戦略の企画・立案

国際センターは国際交流の現場の意見や感覚を戦略に反映させ、有効かつ実効性のある全学的戦略を企画・立案し、大学全体の国際的教育・研究力強化に貢献する。

④ 研究国際交流の基盤整備

国際交流協定の整備、国内外の国際交流フェア等における海外の大学や研究機関との人材交流等のコーディネート、研究者受入環境の整備、国際広報力の強化などのサポートにより、大学全体の国際的研究力の基盤強化と底上げを図る。

⑤ その他

国際センターは、上記①～④の業務を実施するため、各キャンパスにおける国際交流スペースの整備、教職員へのFD等による大学運営基盤の国際化、国際ネットワーキングの構築など、種々の方策を展開する。

(参考)「群馬大学国際センター規程」第3条

センターは、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる業務を行う。

- 1 群馬大学の国際化のための戦略の策定及び推進に関すること
- 2 国際的な学術交流を推進するための調査・研究に関すること
- 3 外国人研究者との共同研究や受入れの推進に関すること
- 4 研究者の海外派遣に関すること
- 5 学生の海外派遣に関すること
- 6 外国人留学生（学位取得を目的として学部等に在籍する留学生を除く）に対する教育プログラムの企画及び実施に関すること
- 7 外国人留学生に対する生活上の助言・相談に関すること
- 8 学部等における学生の海外派遣及び外国人留学生の受入れに係る支援に関すること
- 9 日本語・日本事情教育及びその関係領域に関する調査・研究に関すること
- 10 その他群馬大学の国際化に関し必要な事項